

[初心者のための Q&A そのII]

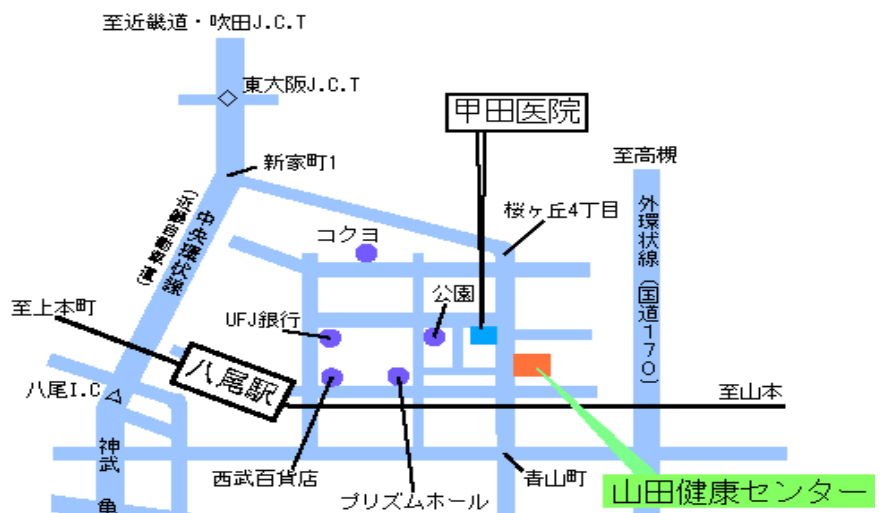
<友人が「近頃はひとが変わったみたい」と私に言うのです。良い意味でのことみたいですが。>

それはよかったですね。頑固な慢性病もずいぶん根が切れてきたのですよ。以前なら、肉体の症状が精神へも陰を落として短気になったり、愚痴っぽくなったり、イライラや不安などが目に付いたことでしょ。宿便が取れるにつれ肉体の浄化が進むとゲンキンなもので「自分が病気である」という意識が薄れ、円満、積極的、いたわり、感謝をもつ余裕が生まれます。意識には、自己のことよりまわりのことが多くなってきます。もし、あいかわらず自己のことばかりですと「こころの宿便」がまだ掃除されていないことになります。多分症状もぶり返してくるでしょう。「心身一者」です。あなたの場合、身の改善と心の改善がうまくかみあって善循環に回ったといえます。そうしたことは他人から見てもそうと分かる位なのですから、本当の治り方をしているのです。表情、言葉、行動、素直さなど変化を友人は見ていたのでしょう。そのように、病気が治るということは「ひとが変わって」くるような変身を経てこなければならぬのでしょうね。

<私は元々胃腸が丈夫ではなく少食だったのですが、まだこのうえ少食にしたらそれこそ痩せこけて病気になるような気がして心配です。>

さらに痩せることへの抵抗感は分かります。これまで内臓下垂で機能低下状態で過ごされてきたのでしょうから結果的に、力が出ない、風邪ひきやすい、根気がなく寒がり、痩せているのでなんとか肉がつかないかと悩む etc. でもそうした体質を食事法で解決したいのですから、これまでのように体力アップにもっと食べるではなく、逆に減らして内臓への負担を軽くしてやらねばなりません。確かに体はやせ衰えたような見掛けになりますが、それを続けると消化吸収力がアップして自己治癒力が上がり、諸機能が活発になってくるのです。それが証拠に痩せてはいても、胃腸の調子がよくなってきたり、顔色も透き通るように変化して肌艶が良くなってきたり、疲れや風邪で寝込むことが無くなったり明らかな改善を自覚されていると思います。ひとはそんな内面の変化を分からないから痩せたことにだけ目をやりがちなのです。ですから、ご自身がそうした効果を訴えないと理解を得にくいと思います。結局、痩せたことは閉塞状態から脱却するために通らねばならない一里塚です。どのみち病気が土壇場に來ますと痩せていきます。同じ痩せたとはいえ病魔に寄り切られてしまったのと、目的意識として少食の結果そうなるのでは「似て非なるもの」とお考え下さい。

<反応症状だと思っておりますが痛みがきつくなってきて顔をしかめていたら、たまたま家族から「もう止めたら」と言われて……>



これは大きな分岐点に差し掛かってきました。最初は病気が治るためだと賛成してくれていた周囲も辛そうな表情や、当り散らすような態度に思いやりのあまりなのでしょう。または普段から「また何か始めた。どうせ続かないわい」と不信感を持たれていたのかもしれませんが。長くかかる慢性病ですのでこの際一度ご自分の気持ちを固めなおして、さらに続けるならご家族の理解を求めないとやりづらくなります。ご自身のこれまでの行状を反省し、なぜ思い通りにすんなり進めないかに考えを巡らすべきです。そして、反応症状などマイナス点ばかりでなく、改善してきたプラス点も公平に評価しないといけません。そうしてそれをご家族にも分かるようにしておかないと、正確な判断を与えられない。ここで一度一家中の意見をまとめる事ですね。家庭内で「和」を築けなかったらいずれ大きなことで挫折を味わうかもしれません。この件はその前哨戦と観て、協力を仰いでみられたらどうでしょう。病気治しという道を通じていろいろ見えてくるものがあるように感じますが、そちらがむしろ本道かも？

第9回初心者のためのQ&A勉強会開催のお知らせ

いろいろな疑問質問をお持ちの方もおられ、勉強会のような場を設定しています。そこで下記の要領で座談会を開きたいとおもいます。関心のある方、この療法を実行しているがよく分からないという方はどうぞ気軽にご参加ください。今回は「皮膚の生理、健康」及び体験者のお話を伺います。

日時： 18年6月10日(土) 14:00~16:00 参加費：300円
場所： 山田健康センター (希望の際にはご連絡下さい)

催しのご案内

日本総合医学会関西大会 第19回研究講演会 「最悪の社会を滅亡から救おう」

日時：2006年 6月18日(日) 10:15~16:30 (開場 9:45)

会場：大阪市中央公会堂ホール (地下鉄御堂筋線、京阪電鉄いずれも「淀屋橋駅」から歩5分)

参加費：2,000円(前売り)・2,500円(当日) 問合せ先：0729-97-5988 (中西美代子)

主な講演：(敬称略) 甲田光雄「少食実行のモデル国家になろうー日本国の品格をたかめるために」
安保徹・新潟大大学院教授「これからの医療と患者の自立」 大原健士郎・浜松医科大名誉教授
「あるがままに生きる」 大沢博・岩手大名誉教授「精神疾患と栄養ー統合失調症と低血糖症」
川嶋昭司・学会頭、南京中医薬大名誉教授「タバコの害」 斉藤英治・「自分で出来る脳、心、体の健康向上と病気の予防」 吹野治・健康の森内科診療所所長「当院における総合医療」 大浦純孝・人間医学社代表取締役「抗うつ薬は必要か？」 大杉幸毅・血液循環療法協会会長「瘀血の解消と予防の実際」 福原宏一・ケア・スポット梅津施設長「地球温暖化を防止する循環システム」

ウオッチ商品 ア・ラ・カルト

- これからの季節に……ネットインナー (キャミソール、ショーツ、5分袖) ¥ 3800 / 2500 / 4200
色 白・黒、サイズ M・L、木綿日本製 (皮膚機能を阻害せず薄着に慣れるグッズ)
 - 有機玄米、生玄米粉 「出雲の阿国」(コシヒカリ特選米17年産) 使用がおすすめ
 - 新レモン (無農薬) 入荷 野菜ジュースに好適 **発行：山田健康センター**
 - 健康機 S-II (毛管、金魚他運動機) 中古お買い得品あり 〒581-0869 大阪府八尾市桜ヶ丘 2-76
- (整備済み程度良)お問い合わせ下さい 営業日 月曜日~土曜日 AM9時からPM6時

診療日は青汁、玄米食ができます。電話予約にてご利用を。

TEL&FAX 0729-97-6177